

補足	メール処理
<p>①【action①】 案件の自動リスト化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1. 読取対象のメール(送信元)の追加 キーとなるアドレスと抽出情報への属性付与とパターン化 例 order@yahoo.com + A列=品名,D列価格,C列商品CD と手動で定義=パターンβ とする <p><パターンβ に設定する情報></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パターン完成後は自動で上記を実行 ・リストに自動反映 ・商品番号の前半13桁又は10桁を抜取。 スクレイピングする商品別のURLを作成(追加可能) <p>②【action②】スクレイピング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スクレイピング対象の追加 キーとなるアドレスと属性付与とパターン化 例 http://www.yahoo.com + A列品名,D列価格,C列商品CD =パターンAとする 2. スクレイピング結果の加工 <パターン(仕入先)ごとに設定する情報> <ul style="list-style-type: none"> ・パターン属性(ECか店頭か) ・スクレイピング順番(同時なら不要) ・サイト別の在庫表記の処理方針とそのパターン化 	<pre> graph LR A[メール受信] --> B{【自動】 【action①】 案件のリスト化} B --> C{【自動】 処理台帳に反映} C --> D[コントロールパネル 【リスト化の設定】] D --> B </pre> <p>The flowchart illustrates the Mail Processing System. It starts with 'メール受信' (Email Reception), which triggers the automatic action ① '案件のリスト化' (Case List Creation). This leads to the automatic action ② '処理台帳に反映' (Reflect in Processing Ledger). Finally, it leads to the 'コントロールパネル [リスト化の設定]' (Control Panel [List Creation Settings]), where the settings for list creation are configured.</p>

例:取り寄せ可:在庫有りと見なさない。
在庫〇:在庫有りと見なす。

- ・注文保留上限額設定
- ・ログイン情報設定
- ・サイト別発注優先順位
- ・店頭店舗別優先順位

③

【action③】各パターン別設定による振分処理

【action④】ログイン・自動仕入れ

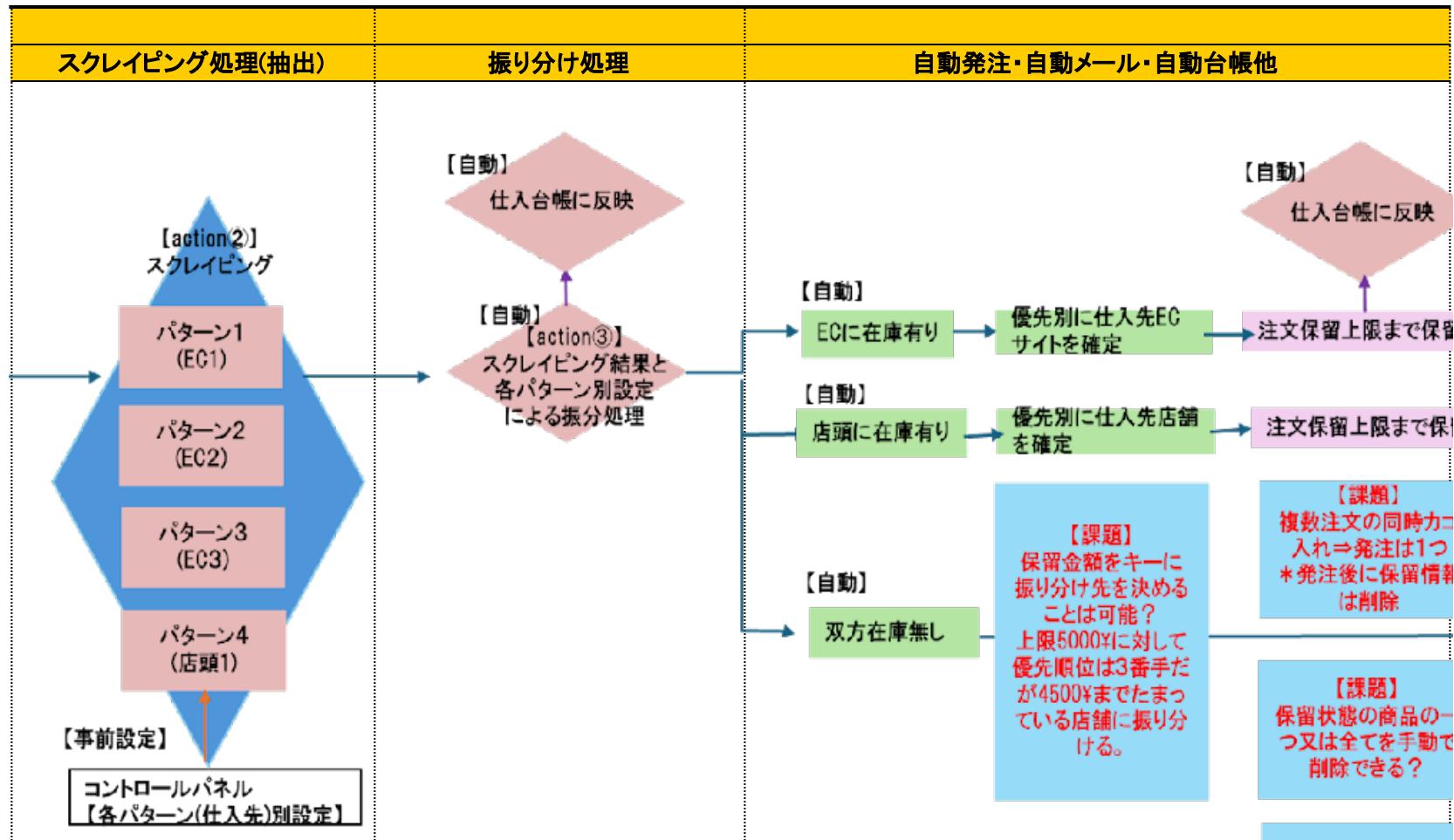
【action⑤】台帳化(店頭へ電話)

【action⑥】

店頭発注メール送信

【操作】

- ・保留案件の手動削除
- ・コントロールパネルによる各種設定
* 設定反映の効果はいつ?
- ・送信フォームの改廃

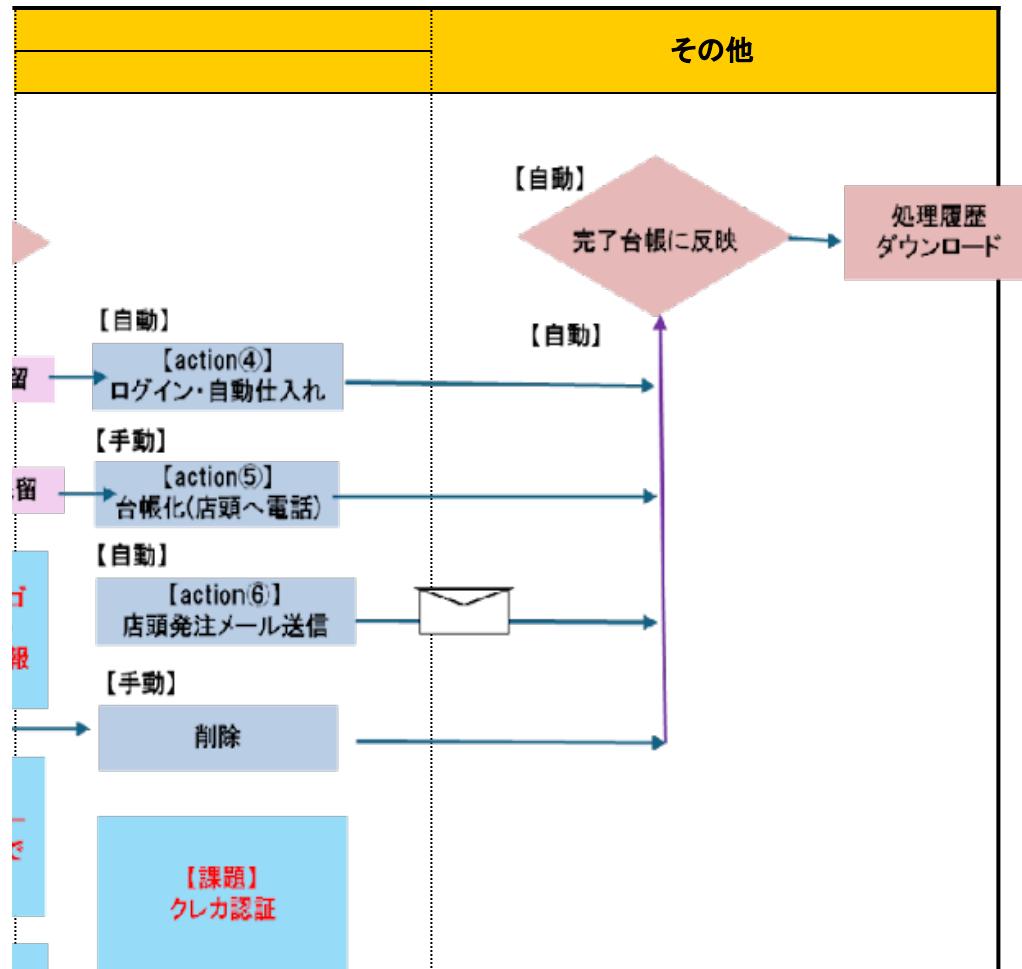


【課題】
仕様変更等で抽出
できなかった
パターンの扱い

【課題】
保留状態の間に在庫
が無くなった場合

【統計表示】

- ・スクレイピング前の案件数/エラー数
- ・スクレイピング後の案件数/エラー数
- ・ECサイト/店頭別保留の件数・総額・最長保留期間
- ・振分け先無(在庫無し)件数



車

